

『いま、なぜ西郷どん?』 旧明治節にあたる憲法公布11月3日の集会です。

明治憲法を正当化する安倍政権とその支持団体の政治的利用に対し、維新からの近代史を問い直してみませんか。
アジアとの友好関係を築き、地方分権に近かった江戸時代の政治体制から、中央集権国家の成立を急速にすすめた明治政府。
近代国家形成をどう実現したか。

その過程のなかで、「国家」「天皇」「個人」「アジア外交」などの価値観をどう変化させたのか。

現行憲法の誕生と存在意義をあらためて考えてみましょう。

2018憲法を考える11.3県民集会

明治維新150年を問う

— 維新からの近代史をふりかえる —

日時 11月3日(土・祝) 13時(開場12時30分)

会場 かながわ県民センター・ホール

講演 千本秀樹さん(筑波大学名誉教授)

戦後70年の2015年
大河ドラマは長州を主
役とした「花燃ゆ」でした

資料代 500円

☺ 託見あります

主催 かながわ憲法フォーラム・共催 神奈川平和運動センター
連絡先 横浜市西区藤棚2-197 神奈川県高等学校教職員組合内
045-231-2479(代) ※お問い合わせは「憲法フォーラム事務局」あてに。



千本秀樹(ちもと・ひでき)

1949年生まれ。京都大学大学院文学研究科現代史学専攻修了。
筑波大学人文社会科学系教授を経て名誉教授。『季刊 現代の理論』編集委員。著書に『天皇制の侵略責任と戦後責任』（青木書店）、『「伝統・文化」のタネあかし』（共著・アドバンテージ・サーバー）など。

『季刊 現代の理論』公式ホームページ
<http://gendainoriron.jp/index.html>

<かながわ憲法フォーラム>って何ですか？

戦後50年を迎えた1995年に、それまでの『護憲』『9条』に絞った運動にとどまらず、憲法を各分野から、生活者の視点で検証しようと、県内の労働組合と市民運動グループが同じテーブルで議論をすすめ、「戦後50年 今、憲法を考える県民集会」を企画しました。95年1月18日にプレ集会、そして5月3日に初の県民集会を横浜市開港記念会館で開催しました。

95年一年限りの活動計画でしたが、企画参加した市民グループの皆さんから、今後も継続的に活動を続けたいという要望が強く、翌96年に「かながわ憲法フォーラム」として、発展改組されました。以後、神奈川県内では初めての労働組合・市民グループのネットワークとして活動を続け、年2回の憲法メモリアルデー5.3集会と11.3集会を企画開催しています。

かながわ憲法フォーラムは、“議論の場”であることを重視し、すそ野のひろいネット-ワークを目指し、政治的な活動とは一線を画しています。そのため、政党・党派の参加はご遠慮いただいています。

具体的な活動としては、年2回の憲法集会のほか、登録団体及び個人が”集う場”として、月に1回の定例会議を。また会議前には横浜駅西口でスタンディングを行っています(3月～10月)。登録メンバーの発案でテーマ別トークセッションも行っています。



ぜひ、
見てね



Facebook公式ページ ⇒



Twitter ⇒



Blog ⇒

